



2012年9月4日

## 製造業者宛

### コーティングされたフェースを有するクラブヘッド

最近、R&A と USGA の両者はゴルフ規則に反する方法でクラブヘッドの性能に影響する可能性がある（と決定された）コーティングされたフェースを有するクラブヘッドの提出物を評価しました。また、R&A と USGA はクラブヘッドの性能を向上させる目的のためのコーティングの使用を試みていると思われるようなその他のデザインコンセプトに気付きました。

特に、コーティングされたフェースを有するクラブヘッドは以下の用具規則の各項目に適合していません。

- 1) 付属規則 II, 4c(ii) – クラブヘッド(クラブフェースを含む)のデザイン、材質そして(あるいは)構造、また処理は、独立したスプリングやスプリング特性(これらに限定されない)などのようなクラブヘッドのスプリング効果に不当に影響を与える意図、あるいは効果を有する機構や技術を組み込んではいけません。
- 2) 付属規則 II, 4c(iii) – クラブヘッド(クラブフェースを含む)のデザイン、材質そして(あるいは)構造、また処理は、球の動きに不当に影響を与えてはいけません。
- 3) 付属規則 II, 5a – クラブのフェースは硬くて堅牢(rigid)なものでなければならず、標準的なスティールフェースよりも著しく多くの、あるいは著しく少ないスピンを球に与えてはいけません。

用具規則制定手続き 3 項にしたがって、この告知文の目的は通常適合性テストに加えて統括団体がコーティングされたクラブを上記規則に関してどのように評価するのかをすべての製造業者に明らかにすることです。

- 1) 統括団体は、その裁量において：
  - a. コーティングを取り除き、特性時間(CT)を測定すること、および/または
  - b. COR テストのような追加的なテストを行う。

コーティングを取り除いた状態でクラブヘッドの特性時間 (CT) が制限値+許容誤差を越えている場合、そのコーティングがそのクラブヘッドのスプリング効果に不当に影響を与えていることの証拠となるでしょう。したがって、そのクラブは付属規則 II, 4c(ii) に適合しないということになります。その反発速度がキャビティーバックプレートによる反発速度を著しく越えている場合、同じことがコーティングされたクラブヘッドにも当てはまるでしょう。

特性時間を著しく減少させる効果を有するコーティングもクラブヘッドのスプリング効果に影響を与えているということに注意してください。しかしながら、不適合の状態を隠蔽するような効果を有する、つまりそれが適合であるように見せかけるコーティングだけがクラブヘッドのスプリング効果に不当に影響を与えているとみなされるでしょう。



**The R&A**  
St Andrews, Fife  
Scotland KY16 9JD

Tel: +44 (0) 1334 460000  
Fax: +44 (0) 1334 460152

[www.randa.org](http://www.randa.org)  
[www.opengolf.com](http://www.opengolf.com)

コーティングされたクラブヘッドによって発生させられるスピン量はテストされ、標準的なスチールフェースと比較されることがあります。通常、スピンテストは意図されたロフトにセットされたクラブフェースに向けて球を無回転で発射し、その結果得られるスピン量を測定します。このスピンテストの目的は、施されたコーティングの影響を分離することであり、したがって、必要なテストを行うために統括団体はその裁量において次の要請をすることがあります：

- a. 提出されたものと同じ追加的なクラブヘッドサンプル
- b. 提出されたものと同じコーティングされていないクラブヘッドサンプル
- c. (スチールのような) 金属の平らな面に施されたコーティングのサンプル

標準的なスチールのクラブフェースと比較して、コーティングされたクラブフェースによって著しく多い、あるいは少ないスピンの得られる場合、そのクラブヘッドは付属規則 II, 5a に適合していないこと、また付属規則 II, 4c(iii) に違反してそのコーティングが球の動きに不当に影響を与えている証拠となるでしょう。

上記に関して質問のある場合、どうぞご連絡ください。

**CLAIRE BATES**  
Assistant Director – Equipment Standards

ES2012GCM